

岡山大学の同窓生、在学生、教職員、教職員OBの皆様へ

平成30年8月発行

アラムナイ
岡山大学 Alumni (全学同窓会)

Alumniの動き

■平成30年度第1回 Alumni 理事会を開催しました

平成30年6月19日(火)、岡山大学本部棟において、平成30年度第1回 Alumni 理事会を開催しました。役員等の交代、平成29年度事業報告および会計監査報告、平成30年度事業計画(案)および収支予算(案)等についての審議事項があり、いずれも原案のとおり承認されました。新規事業として平成31年度から大学院博士後期課程入学支援事業を開始することが認められました。

また、会費の納入状況、Alumni 東海支部の設立、Alumni 大阪支部(仮称)の設立に向けての状況報告等の他、国際同窓会、岡山大学学都基金より報告がありました。

最後に、次回理事会、ホームカミングデイ、総会の開催予定日等について連絡がありました。

議事要旨 http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/kaigi/300619_gijiyoushi.pdf



■全学同窓会 (Alumni) 平成30年度東京支部総会・交流会を開催



本学の全学同窓会組織である岡山大学 Alumni (全学同窓会) 東京支部は7月28日、平成30年度岡山大学 Alumni (全学同窓会) 東京支部、法文経学部同窓会東京支部、工学部同窓会関東支部、農学部同窓会関東支部、理学部同窓会関東支部の合同総会・交流会を学士会館(東京都千代田区)で開催しました。

支部総会では、小長啓一 Alumni 会長・東京支部代表幹事があいさつし、Alumni の設立を機に学部を越えた同窓会活動が活発になり、新たに農学部および理学部同窓会の関東支部設立につながったことなど、Alumni 設立の成果について述べました。今回初参加となった加

賀勝副学長は、台風の影響で参加できなかった榎野博史学長の祝辞を代読し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みなどを中心に現在の岡山大学の歩みを説明しました。また、大学と同窓会の連携をより一層強固なものとし、オール岡大で現在の難局を切り拓いて行くべく、同窓生にさらなる協力を依頼しました。竹原啓二 Alumni 東京支部事務局長は、大学の基礎的な財務状況の説明と平成29年度事業報告、平成30年度事業計画について説明。さらに、参加した同窓生に「大学を支える意識を広げる中核になってほしい」と話したほか、あらゆる角度からの協力体制構築を呼びかけました。

総会後の交流会では、大学関係者も含めて6学部100人が参加。この4月に正式に発足した理学部同窓会関東支部を含め、学部や世代の垣根を越えて交流を深めました。歓談の間には、川本平山 Alumni (理学部) 幹事、河原祐馬法学部長、田野哲工学部副学部長、田村隆農学部同窓会幹事が各学部の近況を報告しました。また、来賓として参加の榎尾俊之岡山県東京事務所長と光藤伸史岡山市東京事務所長からは、先日の豪雨災害状況や観光への影響などの説明があり、岡山県、岡山市への義援金、風評被害対策への支援について協力依頼がありました。交流会の最後には、参加者一同で岡山大学学生歌を斉唱し、母校への想いを共有しました。http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7798.html

岡山大学の動き

■「オープンキャンパス2018」を開催

本学は8月9、10日の2日間、津島・鹿田両地区で「オープンキャンパス2018」を開催しました。天候にも恵まれ、県内外から高校生や保護者ら約1万9千人が訪れ、“岡大ライフ”を体験しました。

全11学部とグローバル・ディスカバリー・プログラムが、それぞれプログラムを企画。各学部の紹介や入試方法の説明のほ



か、在学生在案内する研究室見学や、普段は公開していない場所が見学できるキャンパスツアー、在学生との交流会、校友会の活動紹介など、多彩な催しが開かれました。参加した高校生らは、学生生活について質問したり、メモを取ったりするなど、積極的な様子でした。

また、津島キャンパスの学生会館では入試方法や奨学金、留学に関する相談会も開かれ、多数の生徒や保護者が訪れました。http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7802.html

■岡山大学が「将来世代応援企業賞」を受賞

本学は平成30年度「将来世代応援企業賞」を受賞し、6月7日、津島キャンパスで表彰状伝達式がありました。本年度、高等教育機関で受賞したのは本学のみです。



同賞は、日本創生のための将来世代応援知事同盟が授与しており、子育て支援、女性や若者への支援および働き方改革に際して、独自性、先進性のある取り組みを積極的に行っている企業・事業所を表彰し、その活動内容を広く紹介するものです。経済界をはじめ、社会全体で将来世代を支える意識の醸成と環境づくりの一層の推進に資することを目的としています。

和仁敏行岡山県県民生活部次長が、高橋香代理事・副学長(企画・評価・総務担当)に表彰状を手渡しました。受賞理由となった取り組みとして、平成21年に設置した性別・国籍・年齢・障害等に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努めることを目的とする「ダイバーシティ推進本部」や、全国に先駆けて導入した「ウーマン・テニユア・トラック(WTT)」制による女性教員の雇用拡大などが挙げられています。他にも、男女ともに働きやすい職場環境の構築を目指し、保育施設の充実、研究支援員制度、復職支援助成制度などによる教職員などのサポート体制の充実も図っています。これらの取り組みは多くの実績を上げており、他大学のモデルとなるものとして高い評価を受けました。

本学は今後も引き続き、多様な教職員が活躍できるダイバーシティ環境の推進に努めていきます。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7610.html

■岡山大学名誉会員 金光富男様 お別れの会を開催



5月10日にお亡くなりになった、岡山大学名誉会員・岡山大学 Alumni(アラムナイ、全学同窓会)顧問の金光富男(かねみつ とみお)様のお別れの会を6月19日、岡山大学創立五十周年記念館金光ホールで開催しました。

故人は昭和29年、法文学部法学科を第二期生としてご卒業され、本学創立五十周年記念事業をはじめ、本学の教育研究および留学生支援体制の充実・発展に約20年にわたり格別のご支援をいただきました。

当日はご遺族をはじめ、本学法文経学部同窓会や本学弁論部同窓会コスモス会、ご親交のあった旧知の皆様など、全国各地から総勢300人もの方々にお越しいただき、たいへん盛大なお別れの会となりました。

高橋香代理事・副学長(企画・評価・総務担当)が故人の略歴とご功績を紹介した後、全員で黙祷。発起人である榎野博史学長は弔辞で、故人の本学への思いを引き継ぎ、本学の更なる発展に向けて尽力する決意を語りました。岡山大学 Alumni 会長の小長啓一様と法文経学部同窓会会長の陶浪保夫様から、故人との思い出を織り交ぜた心温まるお別れの言葉が贈られたほか、学生代表の大学院環境生命科学研究科(フェ大学院特別コース8期生)のグエン・チュオン・ヴィン・フォックさんも、奨学金支援に対する感謝の言葉を述べました。その後、故人がお好きであった曲「わが人生に悔いなし」のBGMが流れる中、参加者ひとりひとりが祭壇に献花し故人の冥福を祈りました。最後に親族代表の金光健一様の謝辞で、お別れの会は締めくくられました。http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7666.html

【発行元】

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 (岡山大学 総務・企画部 総務課内)

Tel : 086-251-7019 E-mail : ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp (◎は@に置き換えてください。)

Alumni ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/index.html>